

MORIYA

第71期中間株主通信

2024年4月1日～2024年9月30日

 株式会社 守谷商会
証券コード：1798

裏表紙のアンケートにご協力ください

[株主の皆様へ]



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第71期の「中間株主通信」(2024年4月1日から2024年9月30日まで)をお届けいたします。

代表取締役社長 伊藤由郁紀

当期の事業環境について

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、コロナ禍明け後の雇用・所得環境の改善等により個人消費の長期低迷が収まり、インバウンド需要の回復等も加わって、景気は総じて緩やかな回復基調で推移し、ようやく長期デフレ経済から抜け出しつつあります。

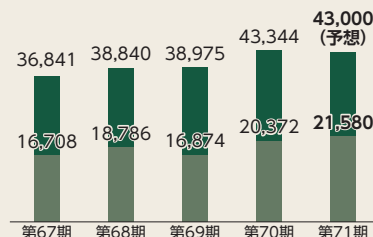
一方、円安によるエネルギー価格や原材料価格の上

昇等に因る物価高に加え、外国為替市場の不安定基調や地政学リスクの高まりなどの懸念材料も多く、景気の先行きは不透明感を拭いきれない情勢下にあります。

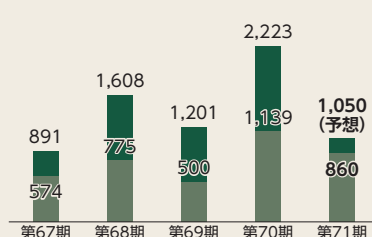
当社グループが中核事業としている建設業界におきましては、受注環境は公共投資・民間投資ともに引き続き底堅く推移しているものの、収益環境は建設資材価格の高止まりや人手不足による輸送費・労務人件費の上昇に「建設業の2024年問題」への対応コストの

連結経営成績

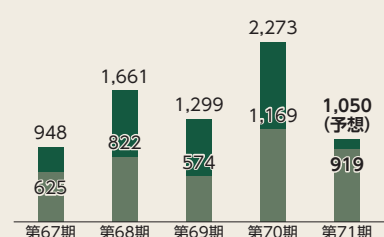
売上高
(単位：百万円)



営業利益
(単位：百万円)



経常利益
(単位：百万円)



増加等も加わり、収益の下押し圧力は依然として強まる状況が続いています。このため当業界の今後の業績動向は押し並べて楽観視できない状況下にあります。

当期の業績について

このような環境下において、当社グループの連結業績は売上高につきましては21,580百万円（前年同期比5.9%増）となりました。損益面では、営業利益860百万円（前年同期比24.4%減）、経常利益919百万円（前年同期比21.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は601百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

実施中の施策について

当社グループは「信頼と技術で地域社会に貢献する」ことを経営方針とし、オールモリヤの旗の下、グループ企業が一丸となって以下の施策を実施し、事業収益を安定的かつ継続的に確保、向上できる体制を確

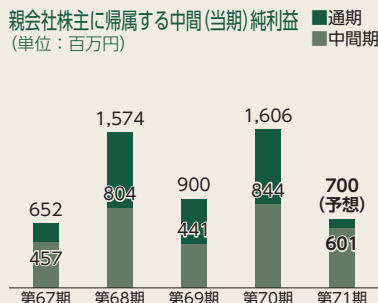
実に実現させてまいります。

- ①徹底したコンプライアンス遵守と安全・品質管理対策による損失発生 の未然防止
- ②与信及び施工リスク管理の徹底、受注時目標粗利益の確保及び工事収支管理の厳格な運用による収益力の強化
- ③DX化による生産性の向上・業務効率化の実現と働き方改革の更なる推進
- ④人材確保対策の強化と能力育成教育の実効的な実施
- ⑤首都圏・中京圏における受注・施工体制の更なる強化
- ⑥不動産開発投資事業の的確な案件選択と回収業務の確実な実行
- ⑦SDGs（持続可能な開発目標）展開目標の継続実施

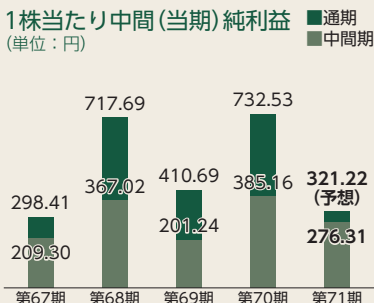
株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

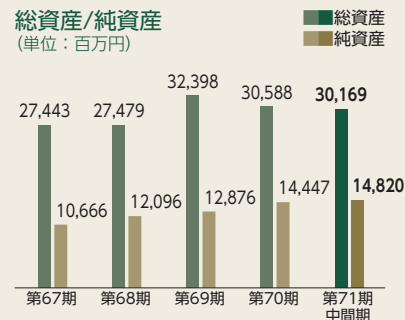
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益
(単位：百万円)



1株当たり中間(当期)純利益
(単位：円)



総資産/純資産
(単位：百万円)





プロフィール

略歴

1985年 4月 当社入社
2011年 4月 名古屋支店建築部長
2015年 5月 名古屋支店副支店長
2016年10月 執行役員名古屋支店長
2020年 6月 取締役常務執行役員名古屋支店長
2022年 6月 取締役専務執行役員建築事業本部長
2023年 6月 取締役副社長
2024年 6月 代表取締役社長

趣味

ゴルフ、ジョギング、スポーツ観戦

座右の銘

疾風に勁草を知る

新社長インタビュー

株式会社守谷商会
代表取締役社長 伊藤由郁紀

Q1 社長が目指す「ビジョン」をお聞かせください。

A1

社員の“ウェルビーイング”を実現し、地域に貢献できる、地域に愛される企業を目指したいと考えています。

Q2 社長に就任して、最初に取り組んだこと・取り組んでいることをお聞かせください。

A2

社員の皆さんから色々な意見や提案を出しやすい雰囲気を作ることに取り組んでいます。

私は、会社は社員の皆さんがやりがいを持って、満足感を感じられる場所でなければならないと考えており、社内制度や福利厚生改善なども、様々な意見を取り入れながら実施したいと考えています。



本社リフレッシュルーム

取り組みの具体例として、ハード面では、社員同士のコミュニケーションを充実させ意見を活発に交わせるよう本社内にリフレッシュルームを整備しました。ソフト面では、女性職員や若手職員との意見交換会も実施したいと考えています。また、私自身も社内のクラブ活動（ランニングクラブ）や地域の行事（長野びんずる）に社員の皆さんと一緒に参加し、積極的にコミュニケーションを図っています。

Q3 建設業界が抱える課題と当社の取り組みをお聞かせください。

A3

建設業は、人々の生活や産業の基盤をつくとともに、災害発生時には災害対応を担う、無くてはならない産業である一方、他の産業と比べ、少子高齢化の影響もあり、業界への入職者の減少などで人材不足が深刻です。業界全体として若手と女性の活躍、ベテランのモチベーションアップへの取り組みを進めています。このような状況下、当社は「人材の獲得」と「人材の教育」に注力しています。

人材の獲得については、週休二日の推進や適正な請負代金と工期の確保、ICT活用による生産性向上などの当社の取り組みや建設業の魅力や、工業系の大学・高校のみならず、工業系以外の学生にも積極的に情報発信を行うなど、学歴や性別、国籍にとらわれない人物本位の採用活動を行っています。

人材の教育では、2017年に改定した教育体系に基づき、年度毎に実業務を通じたOJT教育と階層別教育・職務別教育のOFF-JT研修を実施しています。なお、来年度は現在の教育体系を検証し、新たな教育体系に見直す予定です。また、資格取得に向けた補助・手当等を充実させる他、職員のスキルにあわせた幅広いビジネスセミナーを用意するなど、自己学習の機会を提供することで、社員一人ひとりのスキルの底上げを図っています。

Q4 最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

A4

日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申しあげます。当社は建築事業・土木事業・不動産開発事業に加え、今後は地中熱・ZEBなどの環境事業へ注力・拡大してまいります。様々な社会課題や昨今の価格高騰、専門工事業者の逼迫などの状況下、幅広いラインナップを取り揃え、さらに土木・建築共インフラ修繕や改修、リフォームなど多様なニーズに対応する体制を強化いたします。

地域の皆様に貢献し、愛される企業、必要とされる企業として“サステナブルな建設企業”を目指してまいりますので、引き続きご愛顧とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



[連結財務諸表]

連結貸借対照表 (要旨)

単位：千円

科目	当中間連結会計期間末 2024年9月30日現在	前連結会計年度末 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	22,855,611	23,290,703
固定資産	7,313,453	7,298,184
有形固定資産	3,709,696	3,667,604
無形固定資産	39,308	47,455
投資その他の資産	3,564,448	3,583,125
POINT.1 資産合計	30,169,064	30,588,887
負債の部		
流動負債	14,488,570	15,304,757
固定負債	860,138	836,334
POINT.2 負債合計	15,348,709	16,141,092
純資産の部		
株主資本	14,530,859	14,115,651
その他の 包括利益累計額	289,496	332,143
POINT.3 純資産合計	14,820,355	14,447,795
負債純資産合計	30,169,064	30,588,887

連結貸借対照表のポイント

POINT.1 資産について

現金預金、不動産事業支出金が増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ419百万円減の30,169百万円となりました。

POINT.2 負債について

未成工事受入金が増加しましたが、支払手形・工事未払金、未払法人税等が減少したこと等により前連結会計年度末に比べ792百万円減の15,348百万円となりました。

POINT.3 純資産について

前連結会計年度末に比べ372百万円増の14,820百万円となり、自己資本比率は49.1%となりました。

連結損益計算書 (要旨)

単位：千円

科目	当中間連結会計期間 2024年4月 1日から 2024年9月30日まで	前中間連結会計期間 2023年4月 1日から 2023年9月30日まで
売上高	21,580,806	20,372,664
売上原価	19,502,847	18,095,078
売上総利益	2,077,958	2,277,586
販売費及び一般管理費	1,217,006	1,138,077
営業利益	860,951	1,139,509
営業外収益	64,695	36,597
営業外費用	6,153	6,734
経常利益	919,493	1,169,372
特別利益	—	13,972
特別損失	5,074	—
税金等調整前中間純利益	914,419	1,183,344
法人税、住民税及び事業税	356,943	292,831
法人税等調整額	△ 43,800	45,848
中間純利益	601,276	844,664
親会社株主に 帰属する中間純利益	601,276	844,664

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：千円

科目	当中間連結会計期間 2024年4月 1日から 2024年9月30日まで	前中間連結会計期間 2023年4月 1日から 2023年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	2,278,311	623,975
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 282,973	△ 1,269,400
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 204,207	△ 156,143
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,791,131	△ 801,569
現金及び現金同等物の 期首残高	5,029,579	8,534,914
現金及び現金同等物の 中間期末残高	6,820,710	7,733,345

[会社概要 / 株式の状況 (2024年9月30日現在)]

会社概要

商号	株式会社守谷商会
資本金	17億1,250万円
設立	1955年8月
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建設業 2. 土地造成業ならびに不動産業 3. 建築物の設計および工事監理に関する業務 4. その他、前各号に付帯関連する一切の事業
従業員数	315名

役員 (2024年11月29日現在)

取締役 会長	吉澤浩一郎
代表取締役社長 執行役員社長	伊藤由郁紀
取締役 相談役	伊藤隆三
取締役 専務執行役員	吉澤正博
取締役 専務執行役員	山崎光夫
取締役 執行役員	山口和彦
取締役 執行役員	田下昌志
取締役 執行役員	久保 智
社外取締役	小出貞之
常勤監査役	柳澤久章
社外監査役	鴛澤 裕
社外監査役	小林 泰

株式の状況

発行可能株式総数	7,800,000株
発行済株式の総数	2,260,000株
株主数	749名
1単元の株式数	100株

大株主

株主名	持株数	持株比率
守谷商会従業員持株会	195,792株	9.00%
一般財団法人守谷奨学財団	192,200	8.83
守谷商会取引先持株会	171,200	7.87
株式会社八十二銀行	108,700	4.99
株式会社SBI証券	93,606	4.30
山根敏郎	80,000	3.68
守谷晶子	77,120	3.54
守谷堯夫	62,000	2.85
守谷ソノ	50,400	2.32
八十二キャピタル株式会社	47,114	2.16

(注) 1.当社は自己株式83,560株を保有していますが、上記「大株主」から除いています。

2.持株比率は自己株式を控除して計算しています。

事業所一覧 (2024年11月29日現在)

本社	長野県長野市南千歳町878番地
東京支店	東京都千代田区岩本町2丁目3番3号
松本支店	長野県松本市笹部2丁目1番57号
名古屋支店	愛知県名古屋市中区錦2丁目15番15号
上田営業所	長野県上田市常磐城3丁目8番地1号
佐久営業所	長野県佐久市長土呂字上山848番地6
上越営業所	新潟県上越市五智4丁目8番3号
渋谷営業所	東京都渋谷区笹塚1丁目56番10号
あづみ野営業所	長野県安曇野市堀金烏川2182番地4
飯田営業所	長野県飯田市育良町1丁目8番地2

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日 及び中間配当を実施するときは9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告の方法	電子公告により行う。 止むを得ない事由により電子公告によることができない場合は日本経済新聞に掲載する。 URL https://www.moriya-s.co.jp

【ご注意】

- ①株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっています。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いきませんのでご注意ください。
- ②特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっていますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行の全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- ③未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【ホームページのご案内】

当社の事業概要、施工事例に加え、IR情報やプレスリリースなど当社をご理解いただくためのコンテンツをご覧ください。ぜひアクセスしてください。



第70期中間株主通信ご送付の際に実施いたしました「株主様アンケート」の結果をホームページに掲載しています。

アドレスはこちら

<https://www.moriya-s.co.jp>

株主の皆様の 声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

アクセスキー ●●●●●



ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社アロネックスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」 ☒ koekiku@pronexus.co.jp

株式会社 守谷商会

〒380-8533 長野県長野市南千歳町878番地

UD
FONT

VEGETABLE
OIL INK